

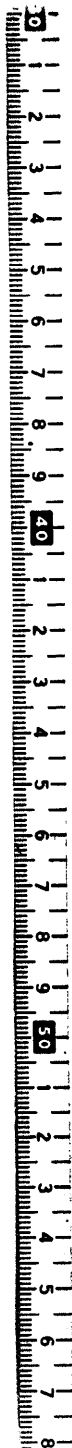
8606

電子複写不可

昭和二十三年三月二十二日

機関部
才百四大隊
才百五大隊
対空戦闘詳報

防衛研修所戦史部



1944

一三四

对空斗争详报

昭和二十
四年四月一日
发行

1445

①

田

軍事秘

昭和二十年一月

整理番號第貳號

自一月三日
至一月四日
戰鬥詳報

機關砲第四百大隊

23704

田

田

進達		區分	
進	達	先	整理番号
第三工軍司令官	第一号、第二号	部数	二
野高司	第三号、第四号		二

機關砲第四百大隊一月三四日戰鬥詳報目次

一 戰鬥前彼我形勢、概要

(一) 敵情

(二) 三日ニ於ケル我方ノ態勢

(三) 四日ニ於ケル我方ノ態勢

二 戰鬥ニ影響ヲ及ビタル氣象地形及住民狀態

三 彼我ノ兵力及交戦セシ敵ノ團隊ヲ將帥以テ種別編成裝備

素質戰法

四 戰鬥經過

(一) 三日

(二) 四日

五 戰鬥後ニ於ケル彼我ノ形勢ノ概要

六 齟齬經過及其他參考トナルハキ事項

七 命令通報ニ于テ戰鬥ニ影響セシ件

八 戦果並ニ損耗
九 功績

附圖

- 一 機関砲第百四大隊一月三日戦斗要因
- 二 機関砲第百四大隊一月四日戦斗要因

附表

- 一 戦果及損耗表
- 二 機関砲第百四大隊本部編成表
- 三 機関砲第百四大隊第一中隊編成表
- 四 機関砲第百四大隊第二中隊編成表
- 五 機関砲第百四大隊第三中隊編成表

戦闘詳報

機関砲第百四大隊

大隊長 中田美智平



一 戦斗前ニ於ケル彼我ノ形勢ノ概要

(一) 敵情

十月二十日以來レイテシンドロ島ニ於ケル彼我ノ航空決戦ヲ煙ケリ比島奪還ヲ圖ル敵ハ我ヲ後方補給路ノ遮断並ニ基地破壊ヲ企圖シアリ近時敵ノ機動部隊ノ機動活發ニシテ最近ニ於ケル台湾軍ノ情報ニ依リ十一月十九日〇八〇〇北緯七度三分東経百二十八度十五分(那霸地奥百三十度一三〇分)附近ニ測定ス之支那基地並マリヤナ基地ヨリスル敵B29ノ台湾及南西諸島ニ對スル偵察亦頻繁ニシテ十一月二十日〇八〇〇一機高々度ヲ以テ那霸上空ニ未襲ス翌一月一日〇九ニ〇再ニ本島上空ニ進入那霸上空ヨリ北飛行場方向ニ向ヒタルモ天候不良ノタメ爆音ノミ聴取シ發見スルニ至ラス此等ノB29侵入ハ何レモ偵察行動ナルモノ如ク攻撃ヲ加ヘサルモ本島ハ空襲逼迫セルヲ思ハシム

三 敵參情電三九號情報

敵機動部隊捕捉、位置ハ三三〇三五北緯、一七度東經二三三度三分附近ニシテ別動部隊ト判定セラルモノ三三〇三〇北緯、一六度三分東經一二四度四分附近ナリ、レイテ島方面増援部隊到着、現況ニ鑑ミ同方面敵新上陸企圖ニ関シ警戒ヲ要スヘシ

四三〇、對空戰鬥ニ於テ撃退セル殘餘、敵機ハ西南方ニ脱去シ該機動部隊ニ返着セルモノ、如ク敵ノ企圖亦我ガ後方遮断或ハ新企圖ニ関聯シテ本島西度、空襲ノ算確實ナリ

(二) 三〇ニ於ケル我カ方ノ態勢

ノ大隊ハ叙上ノ情勢ニ鑑ミ敵機必墜ノ態勢ヲ完備シ各隊ヲシテ各種射撃訓練ヲナスト共ニ對空監視ヲ益々嚴ニシ連絡手段ヲ構シ射撃設備ヲ増強スル等不意ノ空襲ニ應スル對策ヲ益々強化シテ全ク期シアリ

右敵情ニ基キ執リタル処置左記ノ如シ
之各隊ニ下達セル命令及行動並處置
イ台湾軍情報

十二月十九日〇八〇〇北緯十八度三十分東經百五十八度十五分敵ノ有カレル機動部

隊

右情報ニ基キ大隊ハ緊急空襲ヲ轉移シ至嚴ナル警戒ヲ續行ス
口機二〇四作命令第五二号

機關砲隊百四大隊命令

十二月三十日〇八〇〇 水

一敵機B29一機那霸上空ニ進入セリ

軍八〇八〇五沖繩全地區ニ對シ空襲警報發令セラル

ニ各隊ハ戰鬥姿勢ニ轉移スヘシ

大隊長 中田美智平

下達法下達先 進達先 省界

各隊ハ〇八〇六戰鬥姿勢ニ轉移シ激撃準備ヲ充テシ監視警戒ヲ嚴ニス〇八〇七〇〇方
向ヨリB29一機侵入シ未リタルモ高度ナル為戰鬥ヲ支ハルトナク敵機ハ偵察ノ後
三〇〇方向ニ脱去ス

ハ機二〇四作命令第三号

機關砲隊百四大隊命令

十二月三十一日九〇〇 水

一敵機ハ東地方ニ脱去シ其後新報ヲ得ス

二軍八〇八四五沖繩全地區空襲警報解除セラル
三各隊ハ緊急空勢ニ轉移スヘシ

大隊長 中田美智平

下達法及進達先省略

二機一〇四作命甲第二四号

機関砲第百四大隊命令

十一月二十一日 水

一其後敵情ニ関シテ新報ヲ得ス

ニ各隊休宿空勢ニ轉移スヘシ

當分、間各隊ハ監視ノ場加シ別命ナソク六三〇〇七三〇ノ間緊急空勢甲ニ轉移
シ警戒ヲ嚴ニスヘシ

大隊長 中田美智平

下達法及進達先省略

本機一〇四作命甲第一号

機関砲第百四大隊命令

十一月一日 水

一軍情報ヨレハ那覇上空東南方ヨリ北飛行場方向ニ向テB29ヲ撃墜者アリ

軍八〇九二〇空襲警報發令セラル

ニ各隊ハ戰鬥空勢ニ轉移スヘシ

大隊長 中田美智平

下達法 下達先 進達先省略

各隊八〇九二一戰鬥空勢ニ轉移戰斗準備ヲ完了監視及警戒ヲ嚴ニス

ハ機一〇四作命甲第二号

機関砲第百四大隊命令

十一月一日 水

一其後敵情ニ関シテ新報ヲ得ス

軍八〇三〇空襲警報解除セラル

ニ各隊緊急空勢甲ニ轉移スヘシ

大隊長 中田美智平

機一〇四作命甲第二号

機関砲第百四大隊命令

十一月一日 水

一其後敵情ニ関シテ新報ヲ得ス

軍八〇三〇空襲警報解除セラル

ニ各隊警急姿勢ニ轉移スヘシ
但シ當分ノ間別命ナク〇六〇〇一〇七〇〇ノ間警急姿勢甲上轉移シ警戒ヲ嚴
ニスヘシ

大隊長 中田美智平

右命令ニ基キ行動シタル外訓練及警戒ヲ嚴ニ申到ナル戦準備ヲ完了ス
ヲ越ヘテ翌三日左記情報ニ接ス

一月三日〇七〇五台湾軍北部地區空襲警戒命令次テ〇七三八台湾軍全地區空
襲警戒發令南西諸島空襲ノ公算大ナリ
右情報ニ基キ警戒ヲ嚴ニ監視ヲ繼續行中〇八三二B29一機東北方ヨリ那霸上空侵
入シ来ル大隊八直ニ機〇四作命甲第七子ヲ下令戦準備ヲ完了ス
リ機〇四作命甲第七子

機関砲第百四大隊命令

一月三日〇八三二
水

一那霸上空ニB29一機發見ス
ニ各隊戦準備ニ轉移スヘシ

大隊長 中田美智平

注意 特ニ太陽方向ヲ注意セヨ

四日於ケル我が方ノ態勢
一般ノ情勢及敵ノ企圖ヲ判断シ愈々監視警戒ヲ嚴ニシ速急對應ノ戦手段
ヲ精ニ待機ス
〇七二五台湾全地區ニ空襲警戒發令〇八三二與那國上空ニ敵機三機旋回中トノ情
報アリ〇九〇〇戦準備下令〇九〇二各隊戦準備ヲ完了ス
〇〇九五一讀谷山村一六〇度四料附近ニ敵機アリ國頭方向ヨリ〇九五六グラマン戦
機一四機編隊侵入セル確報ニ接シタルヲ以テ戦準備ヲ益々強固ニス
ニ戦急影響ヲ及シタル氣象地形及住民地ノ状態

(一)三日

不風速四五米雲高千二百雲量20%視界廣濶ニシテ監視警戒ニ便ナルモ太陽
ノ照光度強烈ニシテ太陽方向ヨリ進入スル敵機ニ對シテハ目標ノ捕捉困難ナリ
〇一般住民ハ平靜ナリ

(二)四日

不風速四五米雲高千二百雲量100%細雨深霧アリテ視界狭少ニシテ且ツ強

風、多々爆音聽取困難ナリ

ロ一般住民ハ平靜ナリ

三 彼我ノ兵力及大戦ニ敵ノ団隊号將帥氏名種別編成裝備素質戦法

(二) 三日

ノ敵方

イ機種 B 29 F6F

ロ機数 B 29 一機 F6F 十二機 計十三機

ハ敵ノ団隊号將帥 不詳

ニ敵ノ編成 三乃至六機編隊

ホ裝備 各機一二七耗機砲四門

ヘ素質(性能) 機体堅牢 航速最大百七十米 航續六時間千二百哩

ト戦法 編隊ノ儘一斉ニ太陽方向ヨリ進入高度三千ヨリ急降下(角度五〇度)

機銃掃射ヲ行フ

ニ我々方ノ兵力

ノ人員 將校一五 准士官以下二四六名

細部別紙編成表、如シ附圖表第一、第五

コ三ナル兵器 九八式高射機関砲 一八門

ハ携行彈藥 一〇〇式曳光自爆榴彈 六五一

一〇〇式曳光徹甲彈 二七〇九

計 九二二〇

(二) 四日

ノ敵方

イ機種 グラマン F6F 艦上戰鬥機

ロ機数 同 十二機

ハ編成 三乃至六機編隊

ニ裝備 各機一二七耗機砲四門

ホ素質(性能) 機体頑ル堅牢 航速最大百七十米 航續六時間千二百哩

ト戦法 陸地上空ニ注意力ヲ指向セシメ置キ超低空ヲ以テ海面ヨリ不意ニ急襲シ来ル

ニ我々方ノ兵力

ノ人員 將校一五 准士官以下二四六名

細部別戦績表、如シ

口主ナル兵器 九八式高射機開砲 一八門

ハ携行彈藥 一〇〇式曳光自爆榴彈 六三七七

一〇〇式曳光徹甲彈 二六八二

計 九〇五九

四戦斗経過

(一) 三日

一〇八三ニ戦斗準備完了監視警戒ヲ益々嚴シ待機中〇九二六西南三〇〇方向高度
三千敵グラマン戦斗機編隊一機我レニ向ヒアルヲ發見〇九二九小隊飛行場西南上空
ニ達シタルトキ大隊長ハ戦斗開始ヲ下令ス敵機ハ小隊飛行場ニ對シ一斉ニ急降下ヲ
ナシ機銃掃射ヲ以テ襲撃シ来タル各隊ハ射撃ヲ開始セントセシモ有効射程外ナ
ルヲ發射スルコトナク益々沈着好機ヲ窺フ敵機ハ飛行場急襲後北方海上ニ離脱
シ去ル〇九四二再ヒクラマン戦斗機八機三〇〇方向ヨリ侵入大隊長ハ直ニ目標配
當ヲナシ我ア陣地南方上空ニ達シタルトキ各隊ニ射撃ヲ令ス敵機ハ遂次高度ヲ下
テ飛行場ニ對シ正ニ急降下ヲ移ラントセル利那各隊ハ有効中彈ヲ集中シ命中

彈多數ヲ確認ス忽チ内ニ機ハ黒煙ヲ吐キ飛行場北端附近ヨリ編隊ヲ離脱シ一機
ハ四方方ニ旋回遂次高度ヲ下ケテ、約四料ノ海面ニ没入撃墜セルヲ確認ス他ノ一
機ハ遂次高度ヲ下ケテ、西南方向ニ脱去撃墜ヲ確認スルニ至ラサルモ途中墜落確
實ナリ(〇九四五)

二一〇四敵機ヲ撃退本島上空ニ機影ヲ認メナルニ至ルモ尙未襲撃ニ備ヘ監視警戒
ヲ嚴シシ戦斗姿勢ヲ續行ス
三一二〇敵機ハ西南方向ニ脱去シ空襲警報解除セラレタルヲ以テ機一〇四作命甲
第八子ヲ下達ス
四本戦斗ニ於ケル細部ノ戦斗経過別紙要因一ノ如シ

五機一〇四作命甲第八子

機開砲第百四大隊命令

一月三日一二四〇

一其後敵情ニ関シテ新報ヲ得ス

二一〇五空襲警報ヲ解除セラレ

三各隊ハ緊急姿勢乙ニ轉移スヘシ

(二) 四日

ノ一〇四〇ノマシ戦機十二機那霸港北方海面ヨリ超低空ヲ以テ侵入最初波ノ上
 神社附近ノ我カ高射砲陣地ヲ機銃掃射ヲ以テ攻撃シ次テ我ガ陣地ニ向ヒ旋回攻
 撃シ未ル大隊長ハ直ニ各隊射撃目標ヲ配當射撃ヲ下令ス各隊ハ有效射
 程内ニ入ルヲ待テテ好機ヲ捉ヘ必中彈ヲ集中スルト見ルマ編隊左翼最下位ノ
 敵機ハ本部陣地上空附近ヨリ猛烈ナル火煙ヲ吐キ甚ニテ動搖シ速カラ減シ西方
 ニ脱去セントセシモ小隊飛行場上空ニ於テ大キク「バウンド」ナシ飛行場西端海
 面ニ墜落ス各隊及隣接海軍部隊ニ於テモ之ヲ確認ス
 別ニ編隊右翼三番機ニモ命中彈多數ヲ確認(命中時ノ爆発並曳光ノ離脱ヲ
 見ル)機体甚クシテ動搖セルモ撃墜ヲ確認スルニ至ラス西方ニ脱去セルモ他機
 ト離脱シ機首ヲ上昇シ得ザル状態ヨリ墜落セルモト思考ス
 之戦斗經過別紙要因カシ

3-1-16 敵機ヲ確實ニ撃退本島空襲ノ顧慮ナキニ至リタルヲ以テ空襲警報并
 除セラル大隊八機一〇四作命甲第十三号ヲ下令シ引續キ監視警戒ヲ嚴ニス
 4機一〇四作命甲第十三号

機関砲第四大隊命令

一月四日二二六

一敵機ハ西南方ニ脱去セリ

二一〇〇空襲警報ヲ解除セラル

三各隊緊急姿勢甲ニ轉移スヘシ

大隊長 中田美智平

五戦斗後ニ放ケル彼我ノ形勢ノ概要

一三日

ノ敵方

其後判明セル情報ニヨレハ敵ノ有カナル機動部隊ハニアルモノ、如ク一ハ那霸南

西五百料附近(北緯二十三度東經一三三度三分)一ハ那霸南々西一〇五五料(北緯

一六度三分東經二四度四分)附近ニアリテ再度ノ空襲ノ算大ナリ

二我ガ方

再度ノ来襲ニ備ヘ情報ノ収集並ニ監視警戒ヲ益々嚴ニシ陣地ノ補強偽装

ノ徹底ヲ計ルト共ニ敵機ノ襲撃要領ニ應スル戦斗方法ヲ考究シ明日ノ戦斗ニ備フ

一四日

ノ敵方

昨日敵機動部隊位置捕獲後、新報ナク確實ナル位置判明セサルモ、大要、台湾、
東方海域ニアルモノ如ク敵機未襲ノ公算、最大ニシテ嚴戒ヲ要ス
ニ我ガ方

益々監視警戒ヲ嚴ニシ速急對應ノ準備ヲ以テ待機ス
六、離陸過失其他參考トナルヘキ事項

一、離陸過失事項ナシ

ニ、參考事項

1. B29ヲ以テ再發偵察ニ進入、上攻撃機ヲ誘道セルコト確實ナリ、B29ヲ以テ偵
察シ後攻撃シ未タルハ敵ノ常套手段ニシテ係ル場合ノ對処ニ遺憾ナキヲ要ス
2. 本戦ニ於ケル攻撃法ハ不意ニ進入ラ企テ有効目標ニ對シ全機一斉ニ急降下
機銃掃射ヲ以テ一挙ニ戦果ヲ收メントセシモノ、如シ

ハ敵機ハ悪天候ヲ利用シ本島周辺ニ於テ態勢ヲ整へ陸地上空ニ高射部隊ノ
注意ヲ指向セシメ視界不透明ヲ利シテ超低空ヲ以テ海面ヨリ侵入急襲シ未
ルヲ以テ敵機ノ傷跡ニ注意ヲ要ス

七、命令通報報告ニシテ戦斗ニ影響セシ件

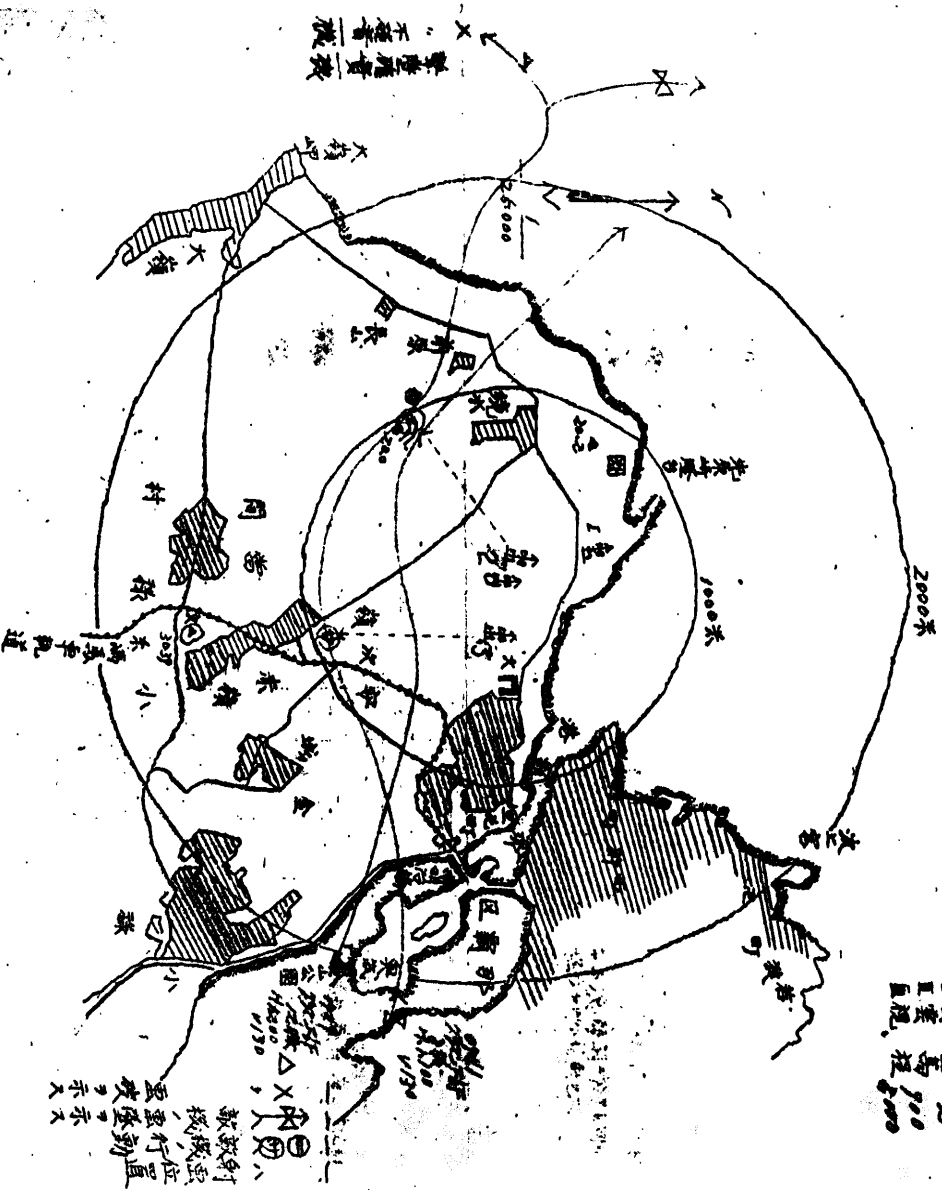
戦斗ニ大シタル影響ナキモ上司トノ通信施設並連絡不充分ノ多情報ノ収集ニ
困難ニシテ又戦斗後ノ戦果及其他ノ報告モ他部隊ヲ通シテ報告ヲナサルベフ
従而他隊ノ報告、次ニ報告ヲ依頼スルタメ遲延誤謬等モアリテ上司カ充分ナル
部隊ノ實相把握ニ困難ナルモノト思考ス

八、戦果並損耗附表第一ノ如シ

凡各隊功績概テ同等ニシテ武功特ニ拔群トシテ個人若クハ部隊ノ表彰ヲ要スル
モノナシ

機關砲隊四大隊戰鬥要圖
 於燒水 自昭和20年1月3日9時23分

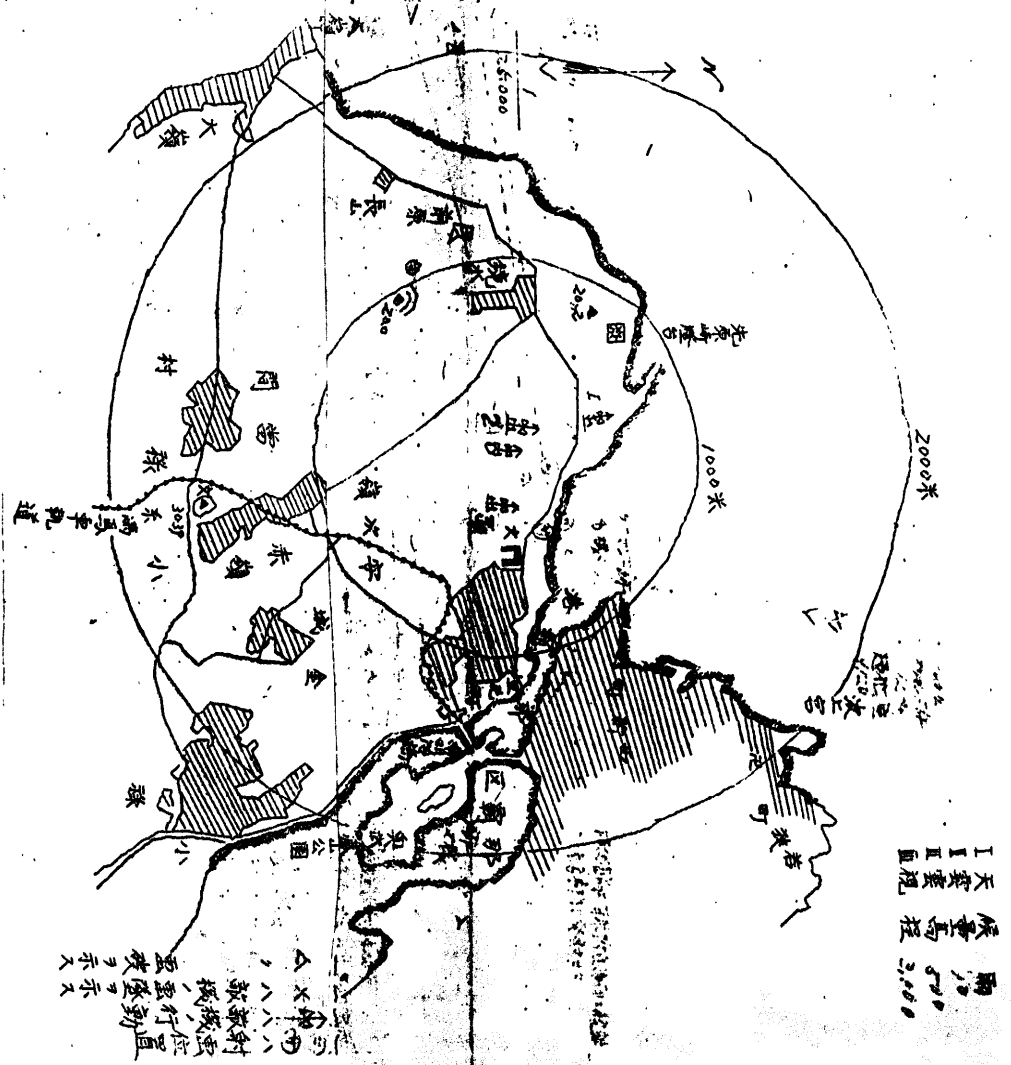
陸軍省
 陸軍部
 陸軍省
 陸軍部



隊別	戰回	時刻	敵				戰				傷		物	車
			目標	射擊	使用	戰果	損傷	損失	傷	死				
第一隊	1	0937	敵機	1200	42	1	1							
第二隊	1	0942	敵機	1200	42	1	1							
第三隊	1	0945	敵機	1200	42	1	1							

機開砲茅百四大隊戰鬥要圖
 於燒水 皇 昭和 20 年 1 月 24 日 10 時 04 分
 皇 昭和 20 年 1 月 24 日 10 時 09 分

附圖 二



戰鬥要圖													
隊別	戰回	時刻	目標	標高	標射	送元	使用	解除	成果	傷	損	擄	擄
番号	回数	時刻	標高	標射	送元	使用	解除	成果	傷	損	擄	擄	
第一	100	1005	2000	100	120	40	10	10	10	10	10	10	
第二	100	1005	2000	100	120	40	10	10	10	10	10	10	
第三	100	1005	2000	100	120	40	10	10	10	10	10	10	
第四	100	1005	2000	100	120	40	10	10	10	10	10	10	
第五	100	1005	2000	100	120	40	10	10	10	10	10	10	
第六	100	1005	2000	100	120	40	10	10	10	10	10	10	
第七	100	1005	2000	100	120	40	10	10	10	10	10	10	
第八	100	1005	2000	100	120	40	10	10	10	10	10	10	
第九	100	1005	2000	100	120	40	10	10	10	10	10	10	
第十	100	1005	2000	100	120	40	10	10	10	10	10	10	

一月三四日戰果及損耗表

射 耗 彈	兵器器材損耗	我方ノ損害	敵ニ當ヘノ損害	區分	
				種類	別
一〇〇式 曳光徹甲彈	其ノ他器材	入 員	飛行機擊墜 及擊破	飛行機擊墜 不確實	員數
五九發	ナシ	ナシ	二	二	摘 要
殘彈 二六五發	殘彈 六二九六發				

機關砲第四百六隊本部編成表

大隊長 大尉 中田美智平

氏名

奥村金之進

岩田章雄
赤塚春雄

松井官一
南谷三郎
前田光雄
青山治

祖父江金次郎

村上守
三原孝之
河村國輝
加藤義松

坂井鐵
大田正
小田井
森田重
水越

高浜義和

横部守

藤原菊池
花井憲一
西野義一
小野山
尾關安五
石橋安五
中井益壽
藤川嘉壽
澤田勇

岡田三則

加藤一雄
黒柳次郎
宇田梅太郎
高梨春一
中川浅一
長井武夫
中井義夫
大東義夫

横尾二郎

佐々木敏夫

倉野義男

伊藤保一

長谷川時正

竹中眞純

附表二

機砲第百四六隊第一中隊編成表

分區	指	班	戰	砲	隊	編成
職官	中尉	伍長	伍長	伍長	伍長	伍長
氏名	森節雄	吉見岩次	吉川又作	吉川又作	今井修	今井修
職官	中尉	伍長	伍長	伍長	伍長	伍長
氏名	淺田要一	青木吉之	小宮宗二	小宮宗二	淺井秋男	淺井秋男
職官	中尉	伍長	伍長	伍長	伍長	伍長
氏名	船橋新一	白野直	中野良平	中野良平	長瀬文雄	長瀬文雄

附表第四

機關砲第一〇四大隊第三中隊編成表

昭吉一音調

隊		砲				班				指揮		長	
番		番				番				番		番	
1		1				1				1		1	
2		2				2				2		2	
3		3				3				3		3	
4		4				4				4		4	
5		5				5				5		5	
6		6				6				6		6	
會通		大坪安				親長				中隊長中尉森春市		長	
富田		藤田友四郎				長				觀		長	
森光		伊藤長治				上				觀		長	
阿部治		安井源三郎				上				觀		長	
新谷大		原田源三郎				上				觀		長	
西原大		鐵田清				上				觀		長	
尾井辰夫		原田清				上				觀		長	
會通		栗飯原				通				中隊長中尉森春市		長	
富田		秋山心治				通				中隊長中尉森春市		長	
森光		堀井利治				通				中隊長中尉森春市		長	
阿部治		道井留廣				通				中隊長中尉森春市		長	
新谷大		吉兼明夫				通				中隊長中尉森春市		長	
西原大		寺田傳				通				中隊長中尉森春市		長	
尾井辰夫						通				中隊長中尉森春市		長	
會通		菅原				長				中隊長中尉森春市		長	
富田		高瀬健三				長				中隊長中尉森春市		長	
森光		新梨梅雄				長				中隊長中尉森春市		長	
阿部治		堀口義夫				長				中隊長中尉森春市		長	
新谷大		大樋口義夫				長				中隊長中尉森春市		長	
西原大		先木健治				長				中隊長中尉森春市		長	
尾井辰夫						長				中隊長中尉森春市		長	
會通		菅原				長				中隊長中尉森春市		長	
富田		高瀬健三				長				中隊長中尉森春市		長	
森光		新梨梅雄				長				中隊長中尉森春市		長	
阿部治		堀口義夫				長				中隊長中尉森春市		長	
新谷大		大樋口義夫				長				中隊長中尉森春市		長	
西原大		先木健治				長				中隊長中尉森春市		長	
尾井辰夫						長				中隊長中尉森春市		長	
會通		菅原				長				中隊長中尉森春市		長	
富田		高瀬健三				長				中隊長中尉森春市		長	
森光		新梨梅雄				長				中隊長中尉森春市		長	
阿部治		堀口義夫				長				中隊長中尉森春市		長	
新谷大		大樋口義夫				長				中隊長中尉森春市		長	
西原大		先木健治				長				中隊長中尉森春市		長	
尾井辰夫						長				中隊長中尉森春市		長	

砲		砲		砲		砲		砲	
一	二	一	二	一	二	一	二	一	二
今丸本石山松岡	村山橋黑本日本	野居藤内上藤崎	三新二市文高乾	道鈴西杉平彦吉	廣木澤本出坂澤	長谷川喜一	坂藤增男	谷中川神酒三飛	倉田高藏
権治郎	謙吾司	野三郎	新二郎	澤秀昇	太一	豐	政信	高藏	豐
第四分隊	第二小隊長	第五分隊	第二小隊長	第六分隊	第二小隊長	豐	豐	豐	豐
一	二	一	二	一	二	一	二	一	二
生岡本增武秋上	原田藤田泰多郎	前中西藤田村澤本	川西藤田計梅福忠武	黑伊山廣深古大則	岩藤利高繁久夫	岩崎清海	可原茂路	和伊津虎	細田和四郎
正明男	正明男	瑞友一	瑞友一	山藤利市	山藤利市	岩崎清海	可原茂路	和伊津虎	細田和四郎
第一小隊長	第一小隊長	第二小隊長	第二小隊長	第三小隊長	第三小隊長	豐	豐	豐	豐
氏名	氏名	氏名	氏名	氏名	氏名	豐	豐	豐	豐

砲隊第百四大隊第三中隊編成表

三十四 外空戰斗詳報

昭和二十
孫國純才百五大家